

令和6年度第2回日進市特別職報酬等審議会 議事要旨

日 時 令和7年1月9日(木) 午後4時から午後5時まで
場 所 日進市役所南庁舎2階 第5会議室
出 席 者 田中淳子、市川豊、佐藤里美、板垣恵美子、武田敬三、早乙女美幸(敬称略)
欠 席 者 山本恵、伊豆原一成、大田知之(敬称略)
事 務 局 石川雅之(総合政策部長)、杉田武史(同部調整監)、柏木晶(同部次長兼人事課長)、鈴木崇正(同課主幹)、味岡正樹(同課給与厚生係長)、水野高仁(同課同係主任)
傍聴の可否 可
傍聴の有無 有(3名) ※Zoom による傍聴

- 次 第
- 1 会長あいさつ
 - 2 議題
特別職の報酬等の額について
 - 3 その他

配布資料

資料1 日進市特別職報酬等審議会【第2回追加資料】

議事要旨

特別職の報酬等の額について

はじめに、前回の審議では特別職の報酬について全員「引き上げ」との意見であったが、議論の中で出されたいくつかの意見に対する補足事項、及び各意見を踏まえた答申額の案について、事務局から資料1の説明を行った。

以下、主な質疑応答は次のとおり。

委員：財政面での検証資料の中でどこに重点をおいて答申額を決められたのか、また市長の答申額について大府市や瀬戸市といった近隣自治体よりも比較して低いのはなぜか。

事務局：大府市や瀬戸市は本市よりも市制施行が早かったことが影響しているかと考えられます。また、財政面での検証資料については、前回の意見で引き上げによる市の財政面への影響を心配する意見がありましたので、特別職等の報酬の引き上げに伴う財政への影響を確認していただくための資料をお示ししております。答申額については人事院勧告に準じた案としております。

委員：みよし市は市制が浅いと思うが市長の報酬額が本市より高いのはなぜか。

事務局：みよし市に関しては地域手当が残っていることが要因です。

委員：近隣自治体で本市より報酬額が高い場合、そちらに優秀な人材が流れてしまわないか危惧する。財政力の問題もあると思うが、近隣自治体に引きを取らない金額を支給できるように工夫してもらいたい。

事務局：今回はまず、引き上げの第一段階と考えていただき、今後特別職や議員の方々の活躍により本市の発展に連動して財政面でもより安定していった段階で、さらなる引き上げを行うことを検討していくことになるものと考えています。

委員：資料 p.30 には年収が挙げられているが、これはボーナスも含んでいるのか、その場合、ボーナスの額についても比較しないと今回の答申額が適正なのか判断できないのではないか。この資料の意図はなにか。

事務局：当審議会ではあくまでも特別職等の月額報酬について審議をしております。資料 p.30 につきましては、財政面の比較を目的としているため特別職等の報酬や期末手当などの1年間の必要経費を掲載しております。期末手当に関しては人事院勧告に準じ適宜引き上げ若しくは引き下げを行っていますので、支給率に関しては他市町村と同様となっております。配布している資料に関しては、特別職の月額を審議するにあたっての一つの素材と判断していただければと思います。

ここで、質疑も尽きたため、事務局よりいままでの議論をまとめた答申案を配布し、説明した。

各委員の答申案に対する意見等はでなかったため、会長から市長あてに答申の提出を行い、終了し

た。